

2009年度社会貢献委員会活動計画

活動キーワード “環境と教育とIT”を基本とした社会貢献活動を行う
UOS社会貢献委員会活動6年目 更なる活発な活動を！特に教育面での活動を重視

1. 委員会：(年間5回開催予定) 5/27(水)、7/8(水)、9/30(水)、11/25(水)
(委員：15社、16名、協力者：2社、2名)

2. 活動内容

1) 世界の恵まれない子供達の教育支援・地域の教育活動支援

2) 地球温暖化防止のための (チーム・マイナス6%) 会員・家族への啓蒙活動

3) 雇用創出・NPO法人支援・資源の有効活用の推進⇔リユースPC

①リユースPCの活用(資源の有効活用)

②再生工場の活動支援(雇用創出)

②寄贈先の発掘(NPO法人支援)

4) WCG(ワールド・コミュニティ・グリッド)の推進

日本初研究プロジェクトに貢献しよう！『小児がんプロジェクト』・・・2009/3/13から2年間！

「あなたのPCが人類の明日を救う。」登録者のPCが業務を行っていない時間(PCのアイドル時間)を提供して、人類共通の難問解明に日夜奮闘している世界の科学者達を支援する、新たな出費無しで貢献できる活動。

①チーム登録増強(関東:108、中部:46、関西:172、九州:25) 計351

関東・中部・関西・九州:全8チーム

②会員登録増強

支部毎の目標設定による推進活動と各社・社員への活動推進PR

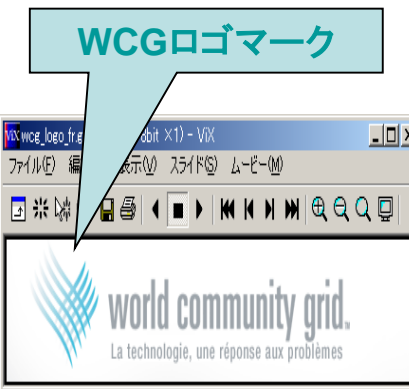
③随時結果報告

5) 関西盲導犬協会支援活動

6) IBM環境シンポジウム2009に参加:6/16(火) 広島国際会議場

7) UOSのHP活用・活動のPR

①毎月UOS会員の社会貢献活動をHPからPR。



WCG
登録

World Community Grid



1)2009年3月、日本初の研究プロジェクトが始まります！

Help Fight Childhood Cancer Project

「ファイト！小児がんプロジェクト

～私達は小児がんと闘う子ども達とその家族を応援しています～」

- 目的： 小児がん・神経芽腫の新しい治療薬開発
- プロジェクト・メンバー：



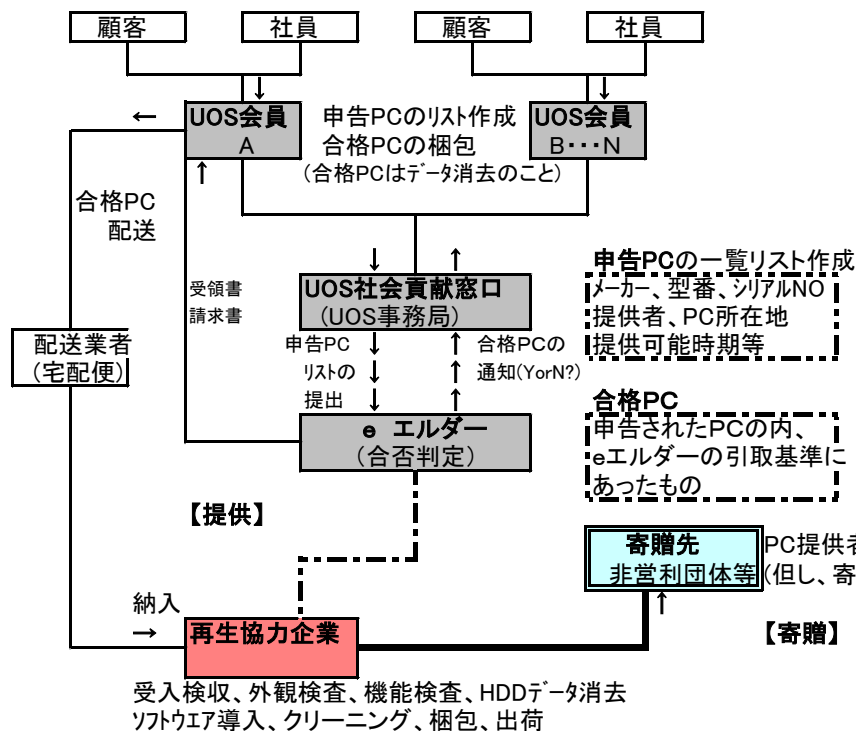
千葉県がんセンター 研究局長 中川原 章先生
千葉大学大学院 医学研究院 生命情報科学 准教授 田村 裕先生
千葉大学大学院 薬学研究院 環境生命科学 准教授 星野 忠次先生
IBM Corporate Citizenship & Corporate Affairs、World Community Grid開発チーム
日本IBM 社会貢献

- プロジェクト期間： 2009年3月13日より約2年間(予定)
- 概要：
千葉県がんセンター 中川原先生が研究する「神経芽腫」の増殖を助けるたんぱく質分子：
TrkB、ALK、SCxxIに対し、その機能を阻害する正しい構造と化学的な性質を持つ新しい候補
薬剤を約300万個の低分子化合物との組み合わせを、World Community Gridが提供する膨大
なコンピューター処理能力を活用、シミュレーションすることにより見つけ出す。
- 日本初のWorld Community Gridを活用した研究プロジェクト
- 3月17日(火、日本時間)千葉県、IBM各々プレス・リリース予定

2009年度社会貢献委員会活動計画

UOSグループ リユースPC提供・寄贈支援の流れ

2009/4 UOSグループ社会貢献委員会



◆金額一覧

	種類	再生金額	会員負担	UOS補助
寄贈	ノート	15,000円	8,000円	7,000円
	デスクトップ	15,000円	8,000円	7,000円
提供	ノート	8,000円	2,000円	6,000円
	デスクトップ	10,000円	4,000円	6,000円

PC送り先

東京: 納入先:リサイクル工房 サラエ 責任者:川津 直 様 〒:136-0074 東京都江東区東砂5-16-3 -101 電話:03-5632-6601	大阪: 納入先:(株)ヒガシ21 カスタマイズセンター 責任者:粕谷 〒:534-0016 大阪市都島区友渚町3-8-34 電話:06-6925-0101
--	--

寄贈PCの在庫状況(2009/4/13現在)

ノート:10台 CPU:1.2Ghz以上 メモリー:512MB HDD:20GB以上 DT:100台 CPU:2.4Ghz以上 メモリー512MB HDD:40GB

- 1 提供PC申告は内容を、UOS指定の様式(社会貢献チーム作成)に記入して、UOS窓口に提出する
 ◎申告PCの対象者は、UOS会員、その社員、更に会員の顧客とする。
- 2 UOS窓口は、各会員からのリストを一覧にして、eエルダーにてメールにて送信する
- 3 引取基準にあったPC(合格PC)の通知ルートは次のとおりとする。eエルダー→UOS窓口→UOS会員→提供者
- 4 提供者は合格PCのデータ消去と梱包作業をし、任意の配送業者に配送手配する(梱包方法は提供者に一任、配送料はUOS会員負担)
- 5 PCが再生工場に到着後、eエルダーからUOS会員に「受領書」と「請求書」が送付される(PCの所有権が移る、資産除去する)
- 6 UOS会員は「請求書」に基づき、請求金額を指定の銀行に振り込む(振込手数料は会員の負担)